

当協会におきまして、新型コロナウイルス抗体検査の実施が可能となりました。

健診時に採血した検体を利用し、新型コロナウイルス抗体の有無を調べる検査であり、現在新型コロナウイルスに罹っているかどうかを診断するものではありません。

新型コロナウイルスの抗体検査とはどんなものですか？

新型コロナウイルスの抗体検査とは、新型コロナウイルス感染症に対する抗体を持っているかを調べる検査です。

抗体とは、感染に対する生体の免疫反応によって体内で作られるものであり、ウイルス等の異物を攻撃する武器の一つです。

抗体検査においては、他の感染症では診断法として確立されているものもありますが、新型コロナウイルスは新しいウイルスのためデータ解析ができておらず、結果の解釈や有用性については確立されていません。海外（米国や中国）では、一般的な集団においてどの程度抗体が保有されているのかの調査などを目的として抗体検査が実施されており、わが国でも今後幅広く実施され、臨床応用が期待されています。

抗体検査の現状や精度の限界についてよく理解したうえで、実施していただくことには一定の意義があるといえるでしょう。

しかしながら、現時点では日本国内における新型コロナウイルスの診断に用いることはできません。また、保険適用もありません。

PCR検査と抗体検査の違いは何ですか？

「PCR検査」とは、感染が疑われるときに体内に病原体（ウイルス）が存在しているかどうかを調べる検査で、現状では診断目的で使用されています。

鼻咽頭ぬぐい液または喀痰または唾液の採取が必要で、疑わしい症状が認められる場合に実施されるものです。

一方、「抗体検査」は身体に侵入したウイルスに対して、体内の免疫システムが産生するたんぱく質（抗体）の存在を検知する検査で、過去に感染していた可能性を知るために行われています。少量の血液で簡単に検査ができるというメリットがあります。

どのような抗体検査なのですか？

本検査はロシュ・ダイアグノスティックス社の「Elecsys Anti-SARS-CoV-2」という試薬を用い、特殊なたんぱく質に対する抗体（IgM、IgG、IgAの混合）を検出し、新型コロナウイルスに対する抗体を獲得しているかどうかを調べる検査です。

抗体検査の正確さはどの程度ありますか？

抗体検査の正確さは、「感度」と「特異度」の2つの指標で評価されます。

感度・特異度とは

・感度（真の陽性率）

本当に感染している人の中で、検査で「陽性」と判定された人の割合です。

100名の真の感染者がいる場合、100名すべてを「陽性」と判定できれば、感度は100%となります。

・特異度（真の陰性率）

感染していない人の中で、検査で「陰性」と判定された人の割合です。

感染していない人100名に対して、100名すべてを「陰性」と判定できれば、特異度は100%となります。

検査の精度（感度・特異度）

		感染（真の）	
		あり	なし
検査	+	A（真陽性）	B（偽陽性）
	-	C（偽陰性）	D（真陰性）

感度 感染している人のうち、検査で「陽性」と判定された者の割合
= $A / (A + C)$

特異度 感染していない人のうち、検査で「陰性」と判定された者の割合
= $D / (B + D)$

当協会が採用している抗体検査の方法

ロシュ・ダイアグノスティックス社のホームページによりますと

・感度

症状を有し、PCR検査にてSARS-CoV-2陽性となった69人の患者から採取した204検体を測定したところ、PCR検査で陽性確認後14日以降の患者では、抗体の検出感度が100%でした。

・特異度

2019年12月以前（新型コロナウイルス発生以前）に集められた5,272検体（風邪・その他コロナウイルス検体を含む）を用いて特異度を算出したところ、特異度は99.81%でした。

どのように抗体検査を受けることができますか？

健康診断・人間ドックで採取した血液で抗体検査を行います。改めて痛みなどを伴う処置や検査は行いません。

どのように予約、受診を行えばいいですか？

健診を予約の際、新型コロナウイルスの抗体検査をご希望されることをお申し出ください。（健診当日に追加でお受けすることも可能です）

症状がなくても抗体検査を受けられますか？

症状がない方でも、健康診断・人間ドックで採血を行った受診者様の検体を使用して抗体検査の実施ができます。逆に現在、症状がある方は受けられません。

費用はどれくらいかかりますか？

新型コロナに対する抗体検査については、定価 5,000 円（税別）でご提供させていただきます。

検査の結果はいつ頃もらえますか？

約 1 週間程度でご指定の住所宛にご送付させていただきます。

検査結果はどのように解釈をすればよいですか？

今回の検査で「陽性」と判定された方は、新型コロナウイルスに対する抗体を持っており、過去に感染していた可能性が高いと考えられます。

今後抗体を持っていない人よりは感染する可能性は低いと考えられますが、その可能性がゼロになるわけではありません。また、抗体検査で「陽性」と判定された場合であっても、PCR 検査で「陽性」であったという事例も最近報告されております。

感染を疑う症状がみられた場合は、外出を自粛していただき、PCR 検査を希望される場合は最寄りの医療機関等へご相談ください。

新型コロナウイルスの抗体に関しては現在のところ研究段階であり、抗体の持続期間や抗体を持っていることがどの程度の感染防御効果をもつかは十分にわかっておりません。引き続き感染予防に努めてください。

今回の検査で「陰性」と判定された方は、新型コロナウイルスに対する抗体を持っていないと考えられます。

過去に感染していた可能性は低く、今後感染する危険性は高いと言われております。引き続き感染予防に努めてください。

陰性証明書や診断書をお願いできますか？

上記のように、抗体検査の結果の解釈や有用性については確立されておられません。

新型コロナウイルス抗体検査についての陰性証明書や診断書（免疫証明書）の発行は致しておりません。

（結果が陰性であっても感染していなかったことを100%保証することはできません。

また、陽性であっても、感染していたことを100%保証することはできません）

ご理解頂いた上で、ご予約ください。

<<注意事項>>

- ※ 本検査は新型コロナウイルスの抗体検査であり、PCR検査、抗原検査ではございませんので、発熱や咳の症状のある方の受診はご遠慮ください。
- ※ 感染者と濃厚接触してから2週間以内の方、日本国外から帰国して2週間たっていない方は、検査を受けることはできません。
- ※ 現在、発熱・咳・痰・息苦しさ・強いだるさなどの風邪症状や呼吸器症状あるいは、味覚異常や嗅覚異常など、新型コロナウイルスに感染している可能性のある方は検査を受けることはできません。
- ※ 抗体検査をコロナウイルス感染症の確定診断に用いることはできません。